東京都立大江戸高等学校　平成２８年度　地理歴史科　年間授業計画

１．科目名　　世界史Ａ　　２．講座名（単位数）　世界史Ａ（２単位）

３．教科担当者

４．使用教科書・教材　　『世界史Ａ』（実教出版）・『プロムナード世界史』（浜島書店）

５．授業計画

学期	月	単元及び指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
１学期	４	○ユーラシア諸文明の特質	○文明の始まりと、ユーラシア世界・諸文明の成立の流れを理解させる。	①古代から現代に至るまでの世界の歴史の基礎的基本的事項について理解している。 ②歴史学習に対し、自ら目的意識を持ち、興味・関心をもって学習に意欲的に取り組んでいる。 ③多面的・多角的な視野をもって歴史事象を捉える。また、歴史事象発生の過程について、資料を活用し、論理的に思考し、公正に判断し、適切に表現しようとしている。 ④歴史学習を通して、世界に対する理解を深めるとともに、国際社会におけるわが国の地位や課題と責任について理解しようとしている。 上記の観点に基づき、 １　定期考査 ２　提出物・取り組み ３　出席状況 から総合的に評価する	４
	５				８
	６	○ユーラシアの交流	○海と陸の交流、モンゴル帝国とヨーロッパ商業圏の成立の流れを理解させる。		８
	７				６
２学期	９	○一体化に向かう世界	○大航海時代・ルネサンス・ヨーロッパの主権国家体制の成り立ちを理解させる。		８
	10	○アジアの繁栄と世界	○イスラム世界と、世界経済体制の形成について、つながりを理解させる。		６
	11	○１９世紀の世界の一体化	○産業革命・アメリカ独立革命・フランス革命・ウィーン体制が世界に与えたインパクトを理解させる。		８
	12	○二つの世界大戦	○帝国主義の与えた影響と、二つの大戦、また戦間期を理解させ、平和について考えさせる。		６
３学期	１	○第二次世界大戦後の世界	○冷戦とアジア・アフリカ諸国の独立と混乱を多極化する世界に位置づけて考えさせる。		６
	２	○現代の世界	○統合へ向かうヨーロッパや、アメリカの戦争、アジア地域の台頭を関連付けながら、理解させる。		６
	３	○持続可能な世界を目指して	○技術と人間の関係や、人間が人間らしく生きるために必要なことを、現在もなお続く紛争を意識させながら考えさせる。		４
				予定時数計	70